



読み聞かせを
やってみよう!



皆さま、この度は読み聞かせボランティアにご応募くださりまして誠にありがとうございます。
また、本日はご多用にもかかわらず講習会にご参加いただき、重ねてお礼申し上げます。



読み聞かせってなんでしょう？

学校での読み聞かせをする目的

子どもに

- * 本/おはなしを届ける
- * 言葉を届ける
- * 世界を見せる
- * 文化を伝える



絵本の選び方

相応しい本

- * 絵がはっきりしている本
 - * 音読がしやすい本
 - * 横書きの本
 - * 聞いていて楽しい本
- ⇒ 希望が持てる本
大人への信頼が感じられる本

相応しくない本

- * 大きすぎる本
- * 小さすぎる本
- * 字が多すぎる本
- * メッセージが強すぎる本
- * 悲しい本⇒ 死や病気がテーマ
- * 季節に合っていない本



読み聞かせに適した本のリスト集を活用しましょう！

[子供の読書に関わる方のページ | 東京都立図書館](https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/junior/)

<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/junior/>



上記HPよりダウンロード可能です。

「読み聞かせABC」は、都民情報ルーム（東京都庁第一本庁舎3階南側）で購入できます。

電話 03-5388-2276 利用時間 平日午前9時から午後6時15分

※郵送や都内の書店(紀伊国屋書店)での注文購入もできます。



絵本の読み方

表紙をしっかりと見せて、題名を読みます。



本を開いたら、表紙のうらも、しっかりと見せます。



はじめは、ゆっくりと読み始めます。



はっきりと、大きな声で。



ていねいに、心をこめて読みましょう。



本を閉じたら、うらの表紙もしっかりと見せます。



見ひらきで表紙を見せ、



もう一度題名を言って終わります。



絵本の持ち方

持っている腕の脇を締めると、
本がグラグラしません。

どの子どもからも
きちんと見えているか
確認しましょう。

横書きの本は右手で、
縦書きの本は左手で、
本の中央の下をしっかりと
持ちます。

本が上向きに
ならないように

空いている方の手(ページを
めくる手)で、本の端を支えます。

ページをめくる時、自分の腕で
絵を隠さないように

©fumira



立って読む時は、本を持っていない方の足を半歩前に出して
体を少し斜めにします。両足を少し開いて立つと安定します。

よく知っている本でも、必ず練習をしてから臨むようにしましょう。
練習をすることで、お話の世界が頭の中に再現されやすくなります。

「読んであげている」のではなく、
子どもたちと一緒に本の世界を
楽しみましょう！



いつでもご相談に乗ります！
お気軽にお声掛けくださいね♡



— 今後の予定 —

5/29(木) 1,6 年生

6/26(木) 2,5 年生

7/3 (木) 3,4 年生

* 2・3学期については、詳細日程を調整中です。

9月 第2回 読み聞かせ講習会

